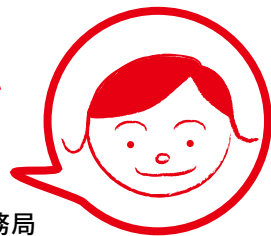


「あなたは悪くない」

と言って
あげられますか？



発行

性暴力をなくそうキャンペーン事務局

レイプなどの性暴力犯罪事件の報道を聞いた時、あなたは「襲われたほうにも落ち度がある」と思いますか？

「一人で暗い道を歩くなんて、襲ってくれと言っているようなものだ」

「泥酔して、襲われたら、自業自得」

「男性の家に一人で行くなんて、セックスしますと言ったのと同じだ」

こんなふうに、考えているでしょうか？ 多くの人がそう考えているので、被害を受けた女性たちは

「レイプされたのは、私が悪かったから」

と感じさせられ、また、恐ろしくて訴えられませんか。暴行を受けた上に、社会から責められるなら、黙っているほうがましなのです。

訴えられない原因は、あなたなのかもしれません。



暴力犯罪者は犯行を繰り返す可能性が非常に高いことが分かっています。

被害者にも落ち度があったと考えることは、性暴力犯罪者を野放しにすることに手を貸すことです。

みんなが性暴力犯罪の本当の姿を理解し、被害者に「あなたが悪いのではない。悪いのは暴力をふるった側だ」と言ってあげられるようになることが、被害者が声をあげられるようになる条件です。そして、この犯罪を根絶する第一歩なのです。

第一歩を多くの皆さんと踏み出すために、このリーフレットを作成しました。どうか、性暴力犯罪の実態について偏見をなくし、性暴力犯罪根絶とともに歩んでください。